

スポーツビジネス事例研究	履修年次	3・4	
	単位	2	
鬼木 和子	配当期	後	
	授業方法	演習 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>1976年のカナダ・モントリオール大会で財政的困難が生じたオリンピックは、1984年の米・ロサンゼルス大会で民営化を進めた。これを契機に、スポーツのメディア価値の創造によるビジネス化が進展し現在ではスポーツの商業化は高度に展開されてきている。</p> <p>日本でも、プロ野球以外では、1993年のJリーグを発端にVリーグ、Bリーグ(2016年)など各種目でプロリーグが設立され、個人でもプロ選手を宣言すること(陸上競技、水泳競技など)が増えてきている。また、2019年のラグビーワールドカップの開催、そして、2021年には東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されていることで、スポーツビジネスに対する注目が一層高まっている。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツビジネスの課題や問題点を探り、その改善、解決案を提示することができる。 ・スポーツビジネスのマネジメントに関心を持ち、他業界との比較、違い等について話し合いができる。 ・グループワークを通じて、組織(グループ)の成果に対して個々のメンバーの姿勢が大きく関係することを理解し、説明できる。 			
成績評価の方法			
個人ワーク(授業外学習を含む)及びグループワークにおける活動とその内容、役割分担作業を中心に評価する。研究内容の内、特に、スポーツビジネスの構造理解、スポーツビジネスの課題抽出とその解決案に重きを置く。			
週	授業項目	週	授業項目
1	イントロダクション	8	ロジカルシンキングの理解
2	チームビルディング	9	さらなるリサーチ
3	ビジネス構造のデータ収集	10	伝える技術
4	テーマについてのリサーチ	11	考察とまとめ、最終発表準備
5	考察とまとめ	12	最終発表①
6	中間成果発表	13	最終発表②
7	中間発表の振り返り・論理性の確認	14	振り返り